

働く大人のための「学び」の教科書

働く大人のための「学び」の教科書

100年ライフを
生き抜くスキル

東京大学・中原淳先生が教える！
僕たちに必要な
本当の学び方。

東京大学文学総合教育研究センター准教授
中原淳

30代から40代の
様々な職種の
「学び賢人」を
紹介！

学び直したい
教養を身につけたい
仕事の幅を広げたい

かんき出版

発売日: 2018年1月15日

出版: かんき出版

著者: 中原淳

ページ: 239

PDF

健康寿命80代まで働く時代、ひとつのスキルや技能で“一生食える”時代ではない。このこ

とは40代・50代のミドル世代も、20代・30代の若手世代も、うっすら感じている。しかし「働き続けるために、自分は何をすればいいのか、どうすればいいかわからない」という人は多い。また「それには、学んで変わっていかねば!」とセミナーや勉強会に参加して自己研鑽に励んではいらぬものの、自己成長につながっている感じがしない、評価も給料も上がらない...そんな人も多い。本書は、東京大学大学総合教育研究センターで、「大人の学びを科学する」をテーマに、学びと自己成長の関係を研究し続けている著者が、「学ぶ、成長する、変わる」のサイクルをまわせば、人生は楽しいという主張のもと、今の仕事を介して、読書やワークショップなどの勉強会やセミナーに参加して、あるいは大学院などの教育機関で、どうすれば最も効果的に、かつ継続して学べるか、変わり続けることができるかを、図やイラストを使って解説。

本書の特徴は2つ。勉強法の類の書籍は、著者自身の体験が語られているものが大半だが、本書は10万人以上のビジネスパーソンの考え方と行動を客観的にみてきた著者が、大人の学びの原理原則、やるべき行動を体系だてて整理しているということ。ふたつめは、そもそも学び続けるにはどうしたらいいか、全員一律の答えはなく一人ひとり、自分自身の最適解を導き出すしかないのだが、本書ではそれを「他者の学びから学ぶ」べく、試行錯誤を繰り返しながら学び続けている7人のビジネスパーソンを紹介。本書を読めば、若手の人は長期化する仕事人生に今からどう備えていけばいいか、中年以降の人は、あと一山、二山越えていくために、今からやるべきことは何かが見えてくる。

<http://yep.pm/jiEVW8xd5/jPWnkeNYd.pdf.rar>